

信任状 正本

友愛會 支部



正會員

右者大正八年度大會代議員トシテ細則第廿一條ニ依リ之ヲ選任ス

大正八年八月 日

支部長

幹事長



鈴木會長 大講演會

世界は正に迅速せんとする。世界の視線は委々佛國ウエル
サイエンスに注がれてゐる。世界の労働階級は海の如くに高鳴る目
己の心願の音を聞てゐる。此時に當り我友愛會會長鈴木文治氏は、日
本労働團體を代表し、講和地に於て開催せらるる可き萬國労働大會へ
出席の爲め、友愛會六週年大會に於ける決議に基づき、来る十二月二
十九日渡佛せらるゝ事となつた。吾人が代表者の任務は重大である
る。吾人日本の労働者は鞭を打つて氏の行を世にせねばならぬ。巧
ち送別講演會を開催する所謂である、日本の労働者は来れ、來つて
吾人の代表者を送れ。

願 序

○司 會 友愛會 會計部長 松岡駒吉

○開會の辭 出版部長 平澤計七

○各支部代表 送別演說

○本部を代表して 關東出張所 主 棚橋小虎

○送別演說 早稻田大學講師 北澤新次郎

○同 帝國大學教授 吉野作造

○同 友愛會顧問 法學博士 桑田旅藏

○同 友愛會顧問 法學博士 添田蕃一

○答 辭 友愛會會長 鈴木文治

○閉會の辭

○時日 十二月二十七日午後七時

○會場 芝田四町五友愛會本部

主催 友愛會本部

○下足入場料無料